

MAT Exhibition vol.11

パンク! 日常生活の革命 名古屋



The Revolution of Everyday Life

Nagoya

PUNK!



2022/8/26/Fri. – 11/12/Sat.

Minatomachi POTLUCK BUILDING 3F:
Exhibition Space

www.mat-nagoya.jp

MAT.
Nagoya

港まちづくり協議会
JOINT COMMITTEE OF PORT TOWN

Minatomachi
POTLUCK
BUILDING

Punk! The Revolution of Everyday Life Nagoya

港まちポットラックビルでは、2021年より国内5ヶ所を巡回してきた「Punk! The Revolution of Everyday Life」展を開催します。

パンクは一般的に騒がしい音楽に派手なファッション、暴れる観客といったイメージを持たれることが殆どですが、この系譜を辿るとみえてくるのが「相互扶助」「積極的自由」「自主管理」「D.I.Y (Do It Yourself=自分のことは自分でやる)」など、他者および自己への倫理といった原理の通底です。現代美術とロックから派生したパンクは、音楽活動のみならず、独自の倫理的実践を通して社会に影響を与え、多様性といった人間性の回復をもたらしてきました。本展では、パンクがこれまでさまざまな社会問題に取り組んできた実践と批評性を捉えることで、現代美術との親和性、さら

には両者の相乗性について検討します。諸問題を抱える現代の日常生活に対してパンクがどのように音楽を通じて自律空間を形成しているのか、さらにはそれがどのような意味を持つのか、改めて振り返ります。

今回はこれまで各地を巡回してきた映像や資料に加え、混乱するミャンマーの地で声をあげ、行動を続けるパンクス、愛知県豊田市から音楽や文化を軸に祭、農業など暮らしに根ざした活動を広げる「橋の下世界音楽祭」を取材し紹介するパートが新たに追加されます。会期中にはキュレーターズトークをはじめ、ゲストを招いたトークイベントも開催します。私たちのこれからの暮らしや日常について、対話し考える展覧会です。

- カール・クラウス | Karl Kraus (オーストリア) / アルフレッド・ジャリ | Alfred Jarry (フランス) / ダダ | DADA
レトリズム | Lettrism² / シチュアシオニスト・インターナショナル | Situationist International
ブラックマスク&アップ・アゲインスト・ザ・ウォール・マザーファッカー | Black Mask&Up Against the Wall Motherfucker¹
キング・モブ | King Mob (イギリス) / クラス | CRASS (イギリス)³ / ライオット・ガール | Riot Grrrl⁴
クィアコア | Queercore⁵ *表紙 Cover / アフロパンク | Afropunk / インドネシアン・パンク | Indonesia Punk
ミャンマー・パンク | Myanmar Punk⁶ / 橋の下世界音楽祭 | SOUL BEAT ASIA (愛知・豊田)⁶



1



2



3



4



5 | THE REBEL RIOT ©Kaung Kaung



6

2022年8月26日(金)–11月12日(土)

11:00–19:00 (入場は閉館30分前まで)

会場 | Minatomachi POTLUCK BUILDING 3F:
Exhibition Space

休館日 | 日曜・月曜・祝日

入場 | 無料

キュレーション | 川上幸之介

企画 | Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]

主催 | 港まちづくり協議会

協賛 | モトヤユニテッド株式会社

*最新情報やその他のイベントについては、ウェブサイト・SNSでお知らせします。
新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更や中止の可能性がります。

お問合せ・アクセス

Minatomachi POTLUCK BUILDING

〒455-0037 名古屋市港区名港1-19-23

(港まちづくり協議会事務局内)

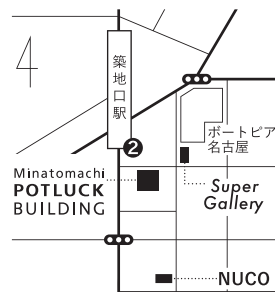
TEL | 052-654-8911

FAX | 052-654-8912

E-MAIL | info@mat-nagoya.jp

WEB | www.mat-nagoya.jp

*名古屋市営地下鉄名港線「築地口駅」2番出口より徒歩1分



イベント | トークシリーズ「希求される共同性」

入場 | 無料 | 定員 | 各回30名(予約不要)

vol.01 | 8月26日(金) 19:00–20:30

「キュレーターズトーク」

川上幸之介 (倉敷芸術科学大学准教授)

vol.02 | 8月27日(土) 19:00–20:30

「アジアのカウンターカルチャー、暴力と抵抗」

居原田 遥 (インディペンデント・キュレーター)

vol.03 | 10月7日(金) 19:00–20:30

「Queer as Punk」

菅野優香 (同志社大学大学院准教授)

vol.04 | 10月8日(土) 17:00–18:30

「世界に抗う音楽とその実践—橋の下世界音楽祭と農業から」

永山愛樹 (TURTLE ISLAND)

Minatomachi Art Table, Nagoya [MAT, Nagoya]

MAT, Nagoyaは、名古屋港エリアで住民と行政との協働でまちづくりを推進する「港まちづくり協議会」が委託事業として実施するアートプログラムです。名古屋港周辺では、1980年代以降さまざまな国際的な現代アートの活動が行われてきた歴史があります。その素地を受け継ぎ、創造性をもって活動する人びとを歓迎し、制作・実践の場を創出することによって創造的なアイデアをまちに還元していくことを目指します。

www.mat-nagoya.jp

パンク！日常生活の革命
名古屋